

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	慶應義塾大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	市場の質に関する理論形成とパネル実証分析		
中核となる専攻等名	経済学研究科経済学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 吉野 直行 外31名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本研究拠点は、市場の質というテーマに基づき、その経済理論を構築し、パネルデータの設計・分析を通じた理論の検証を目指している。市場の質の解明は従来取り上げられたことのないテーマである。しかし、現実の経済では、その重要性が広く認識されてきている。たとえば、資本市場に情報操作や詐欺が横行すると一般投資家の参加は困難で、潤沢な資金が集まらない。その結果、良いアイデアに十分な投資が集まらないなら、市場が高質だとは言えない。この例が示すように、市場の高質化のためには、市場の制度・ルールの整備が欠かせない。資本市場で言えば、証券法がその高質化に果たす役割は大きい。質の転換という定量化の困難な現象に対して制度やルールが果たす役割を探るには、多様な経済主体それぞれの経済活動を追跡する精度の高いパネルデータの設計・分析が不可欠である。世界にも類例のない、市場の質という観点から設計・収集されたパネルデータを駆使して、市場の高質化のあり方を探る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>個票を用いた実証分析や政策研究の一大拠点となっており、パネルデータを蓄積することで、より精度の高い研究を可能とする。また、その成果を一定の条件の下で広く開放し、実証研究の発展に寄与するという企画は高く評価できる。評価の高い研究業績をもつ拠点リーダーのリーダーシップの下、世界的研究教育拠点が形成されることを期待する。</p>			